

中国で一番有名な日本の名所はー。日本リサーチセンター(本社・東京)が実施した調査の結果、中国で最も認知度の高い日本の名所・旧跡は富士山で、二位の東京ディズニーランドを15%以上も上回ったことが分かった。県内からは伊豆半島が九位に入った。今後訪問したい場所にも一位に富士山、九位に伊豆半島が上がった。

日本の名所認知度 富士山が「最高峰」

同社が中国社会科学院 国人の約70%が富士山をたい都市の上位も東京、新聞コミュニケーション 挙げ、このほか、東京・大阪、広島の順。静岡は研究所調査センターと共に 銀座や広島・原爆ドーム 11%の十一位だった。同で昨年十一月に実施。 などが上位に入った。 日本リサーチセンター 旅行や食の安全性、環境 知っている日本の都市は「富士山は日本に中国人を誘客するための強力なセールスポイントになるのは明らか。

中国人の7割挙げる

東京の
会社調査

ための強力な
セールスポイ

問題などをテーマに日中・地域に関する質問に 世論比較調査として行は、90%以上の中国人が 日本のどの点に魅力を感じているかなど今後 国人千二百六十六人から 東京を挙げ、大阪、広島、を定期的調査していき 回答を得た。日本の名所 知っている人は27%の十六 たい」と話している。 旧跡の認知度では、中位にとどまった。訪問し

静岡新聞

2009年1月16日 朝刊